



(写真) El Universal “野党統一連合 (MUD) エドムンド・ゴンサレス氏の大統領選出馬を申請”

2024年3月25日(月曜)

政治

- 「[ロサレス・スリア州知事 UNT から出馬](#)
[マルケス元 CNE 役員 Centrados から出馬](#)」
- 「[ジョリス氏 CNE による出馬申請拒否を批判](#)」
- 「[7カ国+伯・コロンビア マドゥロ政権を批判](#)」
- 「[マドゥロ大統領 正式に出馬申請](#)」
- 「[大統領暗殺計画で VV 構成員 2 名を逮捕](#)
[～VV 検察庁の訴えを完全否定～](#)」
- 「[マドゥロ政権 ファシスト取締り委員会を発足](#)」

経済

- 「[中国と海産物輸出にかかる衛生証明で合意](#)」

2024年3月26日(火曜)

政治

- 「[エドムンド・ゴンサレス氏 MUD から出馬](#)
[～MUD 出馬を巡り MCM 派閥と口論～](#)」
- 「[MCM ロサレス氏ではなくジョリス氏支持](#)
[～4月20日まで候補者の変更が可能～](#)」
- 「[MCM 関係者 アルゼンチン大使館に亡命](#)」
- 「[マドゥロ政権 欧州との関係を大きく見直し](#)」

経済

- 「[パラグアナ経済特区 24年に家電輸出を開始](#)」
- 「[Venetur モスクワに支店を開設](#)」
- 「[マルガリータ島宿泊施設 予約率80%](#)」

2024年3月25日（月曜）

政治

「ロサレス・スリア州知事 UNT から出馬
マルケス元 CNE 役員 Centrados から出馬」

前号「[ベネズエラ・トゥデイ No.1041](#)」で紹介した通り、「野党統一連合（MUD）」と「新時代党（UNT）」は、マリア・コリナ・マチャド氏（MCM）の代理候補としてコリナ・ジョリス氏を指名した。

しかし、「選挙管理委員会（CNE）」の立候補者登録システムにアクセスできず、出馬受け付け期間を3日間延長するよう求めている。

しかし、CNE との調整は難航。

結局、候補者受け付けの最終日である3月25日の午後9時頃にエンリケ・マルケス氏が「Centrados」から出馬を表明。

その後、「新時代党（UNT）」からマヌエル・ロサレス氏が出馬申請を行った。

エンリケ・マルケス氏は、2018年までUNTの執行役員を務めた人物。当時、UNTは他の主要野党らと足並みを揃えて選挙ボイコットを選択したが、マルケス氏は主要野党の方針に異議を唱え、UNTから除名された。

その後、2021年～23年までCNEで野党系役員として活動。マルケス氏の尽力もあり主要野党は2021年の全国州知事・市長選に参加。2017年から続いていた選挙ボイコット戦略を断念した。

マルケス氏は出馬に当たり

「私はベネズエラ国民を代表したい。ベネズエラ国民は汚職や国民の流出に苦しんでいる。国民はより良い国になることを望んでいる」とコメント。

同時に選挙ボイコットを求める野党勢力を批判した。



（写真）@ValenciaHoy

マヌエル・ロサレス氏は、現スリア州知事でUNTの党首。2006年の大統領選では野党統一候補として故チャベス元大統領と対決し、敗北した。

その後、2009年に汚職疑惑を訴えられ、ペルーに亡命。2015年10月にベネズエラ帰国と同時にSEBINに拘束されたが、16年12月に開放され、政治家としての活動を再開している。



（写真）マヌエル・ロサレス氏 X

「ジョリス氏 CNE による出馬申請拒否を批判」

3月25日 MCM氏の代理候補に指名されたコリナ・ジョリス氏は、記者会見を実施。自身の出馬登録が出来ないことを批判した。

ジョリス氏は、「自分はベネズエラ国民であり出馬申請が出来ないことはベネズエラ国民の権利の侵害である」と主張。マドゥロ政権に対して憲法を順守するよう要請した。

また、出馬受け付け期間の延長を求めるため CNE に行くことも検討したが、軍部に拒まれ CNE に行くことが出来なかったという。

なお、「[ベネズエラ・トゥデイ No.1041](#)」でも触れたが、ジョリス氏の二重国籍疑惑について「私はカラカスで生まれたベネズエラ人であり、自分のベネズエラ人である性質を否定することは何者にもできない」と説明。ウルグアイとの二重国籍疑惑を拒絶した。



(写真) VPI

「7カ国+伯・コロンビア マドゥロ政権を批判」

CNE がジョリス氏の出馬を拒んでいる状況について、多くの国が批判的な見解を表明している。

具体的には、アルゼンチン・コスタリカ・エクアドル・グアテマラ・パラグアイ・ペルー・ウルグアイの7カ国が共同で声明を発表。CNE による出馬妨害に強い懸念を表明した。

「現在、ベネズエラの反対勢力（MUD、UNT）は、次期大統領選の代表となるコリナ・ジョリス氏の出馬登録が出来ていない」

「この状況は、先だって確認されている公職権停止措置とともに選挙プロセスの透明性と包括性に疑問を生じさせることになる」
との見解を表明した。

また、マドゥロ政権に協力的なコロンビア・ブラジルも今回の一件には懸念を表明している。

コロンビア外務省は、野党統一プラットフォームがコリナ・ジョリス氏の出馬申請が出来ていない状況に懸念を表明。

ブラジル外務省も、ベネズエラの大統領選の出馬申請プロセスについて懸念を表明。

マドゥロ政権は、これらの声明について「内政干渉であり、ベネズエラの問題を真に理解していない」と拒絶している。

「マドゥロ大統領 正式に出馬申請」

3月25日 マドゥロ大統領は、CNE で大統領選の出馬申請を行った。

マドゥロ大統領は61歳。

2013年4月に大統領に就任したため、既に11年が経過している。

故チャベス元大統領の大統領期間は14年間だったので、今回の大統領選で当選した場合は故チャベス元大統領の在任期間を超えることになる。

なお、国営放送によると「ベネズエラ社会主義統一党（PSUV）」を含めて、14の政党がマドゥロ大統領を推薦しているという。



（写真）マドゥロ大統領 X

「大統領暗殺計画でVV活動家2名を逮捕 ～VV 検察庁の訴えを完全否定～」

タレク・ウィリアム・サアブ検事総長は、マドゥロ大統領の暗殺を計画していたとして3名を拘束したと発表。

「3名のうち2名はMCM氏が党首を務める「Vente Venezuela」の活動家であると自供した」と説明した。

VVの活動家と自供したのは、Jerry Argenis Ostos Perdomo氏とCarlos Eduardo Castillo氏の2名（もう1人の名前は公表されていない）。

2名は拳銃を所持しており、マドゥロ大統領と20メートルの距離まで接近していたという。

3名が逮捕されたのは午前11時30分頃。服の中に銃を隠し持っていたという。

「Vente Venezuela」は、この訴えを拒絶。

「Jerry Argenis Ostos Perdomo氏とCarlos Eduardo Castillo氏について、認識がない」との見解を表明した。

また、今回の訴えについて「マドゥロ政権が政治的な迫害を正当化するためのでっち上げ」と主張した。

「マドゥロ政権 ファシスト取締り委員会を発足」

3月24日 デルシー・ロドリゲス副大統領は、新たに「反ファシスト・ネオファシスト国家高等委員会」を発足すると発表。

国内で抗議行動を扇動するグループへの取り締まりを強化すると説明した。

ロドリゲス副大統領の説明によると、与党国会は、「反ファシスト・ネオファシストの政治参加と国民生活法案」を議論しているという。

「この法案は、2014年、15年、17年にベネズエラで起きた抗議行動と、その結果ベネズエラが被った大きな経済的な被害を踏まえたもの」と説明しており、反対勢力の抑圧強化にもつながる懸念がある。

経 済

「中国と海産物輸出にかかる衛生証明で合意」

ベネズエラと中国は、海産物の輸出にかかる衛生証明について合意を交わした。

ベネズエラのJuan Carlos Loyo 漁業・養殖相は、Lan Hu 在ベネズエラ中国大使と「海産物衛生証明プロトコール」に署名した。今回の合意によりベネズエラから中国向けの海産物輸出が容易になる。

Loyo 漁業・養殖相は、「既に45のベネズエラ企業が衛生証明の取得を希望しており、うち15社が衛生証明の取得プロセスに入っている」と説明。

「ベネズエラの海産物を輸出するチャンスが拡大した」との見解を示した。



(写真) 漁業・養殖省

2024年3月26日（火曜）

政治

「エドムンド・ゴンサレス氏 MUD から出馬
～MUD 出馬を巡り MCM 派閥と口論～」

3月26日 「野党統一連合 (MUD)」は、エドムンド・ゴンサレス氏を大統領選候補に推薦。出馬登録を行った。

本来であれば、大統領選の候補者受け付け期間は3月25日までだったが、CNE は例外的にゴンサレス氏の出馬を受け入れたという。

エドムンド・ゴンサレス氏は、国際政治学者。在アルゼンチン・ベネズエラ代表大使を務めたこともある人物。「外交戦略分析センター (CADE)」の役員であり、メトロポリタン大学の客員教授でもある。

ゴンサレス氏の出馬により13名が大統領選に出馬したことになる（13名の候補者については「[ウィークリーレポート No.348](#)」参照）。

政治評論家のニックメル・エバンス氏は、自身のソーシャルメディアにて、ゴンサレス氏が出馬した背景について投稿。

「トマス・グアニパ氏 (PJ)、ルイス・アキレス・モレノ氏 (AD)、スターリン・ゴンサレス氏 (UNT) が、ホルヘ・ロドリゲス氏 (国会議長) と協議を行い、MUD の出馬が12時間延長された」と説明した。

なお、ゴンサレス氏の出馬申請を巡り、主要野党とMCM 陣営が激しい口論を繰り広げたようだ。

これは MCM 氏の後任候補として指名されたコリナ・ジョリス氏がインタビュー番組で明言している。

具体的にどのような口論があったのかは説明しなかったが、MCM 陣営が候補者を変えることに抵抗を示したことは容易に想像できる。

「MCM ロサレス氏ではなくジョリス氏支持
～4月20日まで候補者の変更が可能～」

3月26日 MCM 氏は記者会見を実施。

CNE がコリナ・ジョリス氏の出馬を妨害したことを批判。支持者に対して「決して屈してはいけない」と呼びかけた。

「我々が以前から警告していた通り、マドゥロ政権は彼らにとって都合の良い候補者を擁立させようとしている」と指摘。「私の代行候補はコリナ・ジョリス氏だ」との見解を示した。

また、「4月20日まで候補者を変更することが出来る」と説明。引き続きジョリス氏の出馬の道を探る姿勢を示した。

なお、マチャド氏が記者会見を行った時点で、ロサレス氏の「UNT」からの出馬は公表されていたが、ゴンサレス氏はまだ「MUD」から出馬していなかった。

従って、ゴンサレス氏の出馬について MCM 氏がどのような見解を表明するのか確認できていない。

なお、記者会見で重要なのは、発言者の発言内容であることはもちろんだが、発言者の周りに誰がいるかも重要になる。

これまで MCM 氏の発表時には主要野党(PJ、AD、UNT)の関係者も同伴していたが、今回の MCM 氏の発表には主要野党の関係者が同伴していない。今回の MCM 氏の発表は主要野党のスタンスと違っていることが想像できる。



(写真) Vente Venezuela

「MCM 関係者 アルゼンチン大使館に亡命」

「EFE 通信」によると、MCM 氏の政党「Vente Venezuela」の複数の役員がアルゼンチン大使館に亡命しているという。

また、アルゼンチンメディア「Infobae」は、ミレイ政権が6人の亡命者の受け入れを許可したと報道。

6名のうち5名は、Pedro Urruchurtu 氏、Magallí Meda 氏、Humberto Villalobos 氏、Claudia Macero 氏、Omar González 氏。最後の1名の名前は明らかにされていない。

マドゥロ政権は、Vente Venezuela の党員が、国家を不安定にするための計画を主導していると主張。

VV のバリナス州選挙対策長による証言を公開し、複数の VV 役員を指名手配にかけている（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1040」](#)）。

今回アルゼンチン大使館に亡命した人物は、指名手配を受けている関係者である。

アルゼンチン政府が「Emtrasur」の飛行機 Boeing747 を米国政府に引き渡した一件もあり、マドゥロ政権とミレイ政権との関係は極めて悪い。

今回の件で、両国の関係が更に悪化することは避けられず、両国の大使館が機能を停止する可能性は高そうだ。

「マドゥロ政権 欧州との関係を大きく見直し」

3月26日 マドゥロ政権のイバン・ヒル外相は、「EU との関係について重要な決定をする」と発表した。

この声明は、CNE がジョリス氏の出馬を認めないことを受けて EU が懸念を表明したことに端を発する。

マドゥロ政権は EU の声明を受けて「EU は過去に失敗した植民地支配を続けようとしており、自国主権の原則を侵害している」と主張。

「ベネズエラの組織に対する尊重の欠如は、国際法に違反する」としており、「ベネズエラは EU との関係について重要な決定をする」とした。

ヒル外相は具体的にどのような決定を下すのか明言していないが、この流れから察するに良い意味での関係見直しでないことは明らかだろう。

経 済

「パラグアナ経済特区 24年に家電輸出を開始」

ファルコン州の Sergio Quintero 生産輸出経済担当秘書官は、「5つの企業が同州のパラグアナ経済特区に3000万ドル弱の投資を行うことで合意した」と発表した。

Quintero 秘書官によると、2024年1～3月にかけて、パラグアナ半島から ABC 諸島（アルーバ・ボナイレ・クラサオ）に対して3000トンの商品を輸出したという。

また、パラグアナ経済特区では輸出を目的とした家電製品の生産工場や、石油産業で使用する配管の製造工場、観光企業の建設が進んでおり、今年中に家電製品の輸出が始まるとの見通しを示した。

他、外国からの投資については、中国・トルコ・ブラジルから経済特区に関する関心が寄せられていると説明した。

「Venetur モスクワに支店を開設」

アリ・パドロン観光相は、「ベネズエラ観光エージェンシー（Venetur）」のモスクワ支店開設を発表した。

Venetur の支店開設の目的は、東欧地域でのベネズエラ観光の促進である。

ベネズエラの観光地であるマルガリーターモスクワ間の直行便が運航しており、同路線の利用者拡大を目的としている。

また、ロシアの旅行業界・金融機関・メディアなどとの関係を強化し、ベネズエラの観光プロモーションを推進するという。

「マルガリータ島の宿泊施設 予約率80%」

今週はセマナサンタのため、3月28日、29日は国民の祝日になる。

この時期は旅行シーズンで、多くのベネズエラ人が家族とビーチに行く時期でもある。

ベネズエラの観光地マルガリータ島があるヌエバ・エスパルタ州ホテル商工会の Alberto Anecchino 代表は、今年のセマナサンタのホテル予約率について約80%と説明。

特に海岸に近いホテルの予約率は100%に達しているケースもあると補足した。

Anecchino 代表によると、2023年のホテル予約率は約70%だったとのことで、前年より利用が増える見通しだという。

なお、マルガリータ島を旅行するための平均費用（2泊3日）は、飛行機代とホテル代、2食と飲み物代を含めて、300～350ドル/人だという。

以上